

Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 1 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

野鳥を使って楽々入力 ~ LATFX コマンドなんて打ってられるか~

Linux 使おうぜ委員会

2005年5月11日

あなた、野鳥やめますか?

それとも人間やめますか?



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙









ページ2 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

1. 野鳥って何?



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙







ページ3 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

野鳥って何?

- Yet Another T_EX mode for Emacs
 - → YaTeX → やてふ → 野鳥
- Emacs 上で動作する、LATEX 入力支援環境
- 開発者は広瀬雄二さん (日本人)
- 他のエディタへの移植版もある

Emacs ⇔ 野鳥 (YaTeX)

Vz ⇔ 雷鳥 (LaiTeX)

Wz ⇔ 白鳥 (HackTeX)

秀丸 ⇔ 飛鳥 (HiTeX)

xyzzy ⇔ 花鳥 (KaTeX)

● HTML 入力支援環境も存在 (yahtml)



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙







ページ 4 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

何でそんなものが必要?

- だって LATEX のコマンドって面倒くさい!
 - \begin{center} ... \end{center} ... \tend{center}
 - \theta, \epsilon, \leftrightarrow 連発されたら悲惨!
 - \frac{\partial x_i}{\partial y_j} 殺すよ? マジで。
 - (*J* ` ´) *J* : · '.:: · : · '.:: ·
- 野鳥ならこんな入力がわずか 2-3 タッチ!
- マウスを使わずキーボード上ですいすいと
- Emacs 上でほとんどの作業が完結!



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 5 / 22

戻る

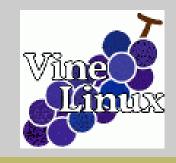
全画面

閉じる

終了

そうは言っても......

- いろいろ設定しないといけないんじゃ?
 - → 使うための設定は済んでます!
- 何か困ったとき不安だし……
 - → 日本語マニュアル & Q and A も完備!
- 新しく入力方法覚えるのが面倒じゃん
 - → 直感的でわかりやすい入力方法です!
- ◆ かっこ類が勝手に閉じられて気持ち悪い
 - → もちろんカスタマイズできます!



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 6 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

そうは言っても......

- いろいろ設定しないといけないんじゃ?
 - → 使うための設定は済んでます!
- 何か困ったとき不安だし……
 - → 日本語マニュアル & Q and A も完備!
- 新しく入力方法覚えるのが面倒じゃん
 - → 直感的でわかりやすい入力方法です!
- かっこ類が勝手に閉じられて気持ち悪い
 - → もちろんカスタマイズできます!

→ もう使うしかない!!



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙









ページ7 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

2. Let's use 野鳥!



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 8 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

野鳥を使うには

- なんと簡単、T_EX ファイルを開くだけ
 - C-x C-f test.tex
 - .tex という拡張子に反応
- M-x yatex で明示的に指定しても OK
- 野鳥モードに入ると下に「やてふ」の文字が





Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 9 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

なにはともあれ文書型指定

- 1. C-c s
 - >(C-v for view-section) \???{} (default...
- 2. そのまま 🕡 (リターン)
 - >Documentclass options ([opt1,opt2,...]):
- 3.「a4paper,11pt」と入れて 🕶
 - → Tab 補完をうまく使って入力しよう!
 - >Documentclass (default jarticle):
- 4. 「jsarticle」と入れて → (jarticle ではない)
 - >'jsarticle' の登録先: U) ユーザ辞書 L) ローカル...
- 5. ユーザ辞書に登録しておこう (u を押す)
- > \documentclass[a4paper,11pt]{jsarticle}



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 10 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

begin 型補完

- \begin{env} ... \end{env} タイプの補完
- C-c b が頭につく (begin)

- 1. C-c b d (document)
- 2. C-c b c (center)
- 3. 何か文字を入れてみる
- > \documentclass[a4paper,11pt]{jsarticle}
- > \begin{document}
- > \begin{center}
- > 野鳥はすばらしい!
- > \end{center}
- > \end{document}



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙









ページ 11 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

コンパイル&プレビュー

- ターミナル不要! Emacs 上で OK!
- C-c t が頭につく (typeset)

やってみよう!

- 1. コンパイル: C-c t j (何の略だろう?)
- 2. プレビュー: C-c t p (preview)

ターミナルでのコマンドとの対応:

- 1. コンパイル: platex test.tex
- 2. プレビュー: xdvi test.dvi
 - Alt-Tab で元の Emacs の画面に戻れます



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 12 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

large 型補完

- {\large } のような形式の入力
- ◆ 文字サイズ & フォント指定がこのタイプ
- C-c1 が頭につく (large)

- C-c 1
 - >{\??? } (default large):
- 例えば「small」と入れて → (Tab 補完可能)
- フォント指定もやってみよう(「bf」it」など)
- > 野鳥はすばらしい!
- > {\small おせっかいって言う人もいるけれど}
- > {\bfseries それは親切の裏返し}



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 13 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

既に書いた所を囲みたいとき

- large 型補完を、既に書いた所に適用
- C-c L が頭につく (C-c l の l を大文字に)
- 囲みたい部分を範囲選択して実行 (範囲選択は前回の Emacs 入門を参照)

- 1.「野鳥はすばらしい」を範囲選択
- 2. C-c L の後は C-c l の時と同じ Large とすれば {\Large } で囲まれる
- > {\Large 野鳥はすばらしい!}
- > {\small おせっかいって言う人もいるけれど}
- > {\bfseries それは親切の裏返し}



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 14 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

begin 型補完でも同じことが

- 既に書いた部分を begin 型で囲むとき
- C-c B が頭につく (C-c b の b を大文字に)

- 1. \begin{center} ... \end{center} を範囲選択
- 2. C-c B v すると verbatim 環境で囲まれる
- > \begin{verbatim}
- > \begin{center}
- > {\Large 野鳥はすばらしい!}
- > {\small おせっかいって言う人もいるけれど}
- > {\bfseries それは親切の裏返し}
- > \end{center}
- > \end{verbatim}



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 15 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

ギリシャ文字補完

- わずか 2-3 タッチでギリシャ文字入力が!
- 数式環境の中で「:」の後に頭文字が基本
- 最初に C-u をつければ数式環境外でも OK

- 1. \$を入れると自動的に\$\$に
- 2. :a で \alpha、:b で \beta (小文字)
- 3. :G で \Gamma、:D で \Delta (大文字) 「:」のあと Tab を押すと、一覧が出ます
- > \$\alpha, \beta, \Gamma, \Delta\$
- > なんてギリシャ文字も簡単に入力できる!
- > ウハウハ!



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙









ページ 16 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

数式記号イメージ補完

- 数式記号も実はわずか 2-3 タッチで OK!
- 数式環境の中で「;」の後に続けて打つ
- ●「;」の後ろに来るのは記号の「イメージ」

入力	コマンド	実際の記号
;<	\leq	<u> </u>
;>	\geq	>
;<-	\leftarrow	←
;->	\rightarrow	\rightarrow
;<=	\Leftarrow	(
;<	\longleftarrow	
;<->	\leftrightarrow	\leftrightarrow



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙









ページ 17 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

もちろん矢印だけじゃない!

- 頻出記号はぜひ覚えましょう
- ●「;」の後に Tab で一覧が出ます

入力	コマンド	実際の記号
; A	\forall	A
;E	\exists	3
;6	\partial	∂
;00	\infty	∞
• •	\cdot	•
; x	\times	×
; ~ _	\simeq	~
, ~ ~	\approx	\approx



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 18 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

使ってわかるコメントアウト

- 基本は領域指定 (範囲選択) 後 C-c >
- アンコメントは領域指定後 C-c <
- begin-end 間の場合は領域指定不要 \begin や \end にカーソルを合わせて C-c >や C-c <を実行すれば OK
- このとき代わりに C-c . や C-c , を使うと begin と end の行のみの操作ができる

アンコメント状態

\begin{quote}
古池や 蛙飛び込む 水の音
\end{quote}

コメントアウト状態

%\begin{quote} 古池や 蛙飛び込む 水の音 %\end{quote}



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 19 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

まだまだ補完は止まらない!

- section 型補完 (引数あり)
 - C-cs で始まるこの後 Tab や Space で一覧が出ます
- maketitle 型補完 (引数なし)
 - C-c m で始まるこの後 Tab や Space で一覧が出ます
- accent 記号補完
 - C-c a で始まるSchrödinger とかが書けます
- end 補完
 - begin 環境の閉じ忘れには C-c e 手で閉じると怒られます、気をつけて



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 20 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

おすすめ設定集~/.emacs.my.el に書く

● jarticle でなく jsarticle を使いましょう

(setq YaTeX-default-documentclass "jsarticle")

• 閉じ括弧は自分でいれたい!

;; いつ何時も閉じ括弧は自分で入れる (setq YaTeX-close-paren-always 'never)

または

;; 行末や空行で開いた括弧のみ自動で閉じる (setq YaTeX-close-paren-always nil)

● AMS 数式環境でちゃんと数式補完を使う

(setq YaTeX-use-AMS-LaTeX t)



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 21 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

LATEX/野鳥で困った時に

- Google 先生 http://www.google.co.jp/ まずは、ぐぐれ。話はそれからだ。
- TeX Wiki

http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/texwiki/ 有用な情報がまとめられているサイトです

- 野鳥本家 http://www.yatex.org/ マニュアル、Q & A、有用リンク集など
- 情報理工ノートの Tips

http://meira.misojiro.t.u-tokyo.ac.jp/mist-laptop/Linux/Windows 共に情報が載っています 随時執筆者募集中!



Let's use 野鳥!

ホーム

表紙





ページ 22 / 22

戻る

全画面

閉じる

終了

次回は画像ソフト入門ですお楽しみに!

http://www.sr3.t.u-tokyo.ac.jp/~okayama/linux-seminar/